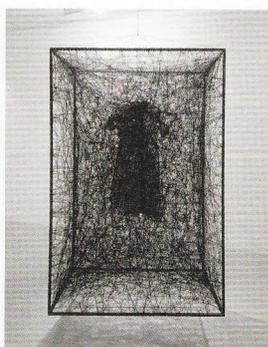


塩田千春（1972年 大阪生まれ）は、ベルリンを拠点に国際的に活躍する美術作家です。京都精華大学洋画科卒業後、1996年よりドイツに活動の拠点を定め、ブラウンシュバイク芸術大学にてマリーナ・アブラモヴィッチに師事しました。以来、糸を展示室に張り巡らせるインスタレーションや、旧東ベルリンの解体されるビルや廃屋から集めた多数の「窓」を組み合わせたインスタレーション、さらには自らの身体を用いた映像作品など、多様な表現を展開し、これまで数多くの国際展に参加してきました。また、日本国内では、2001年に開催された横浜トリエンナーレ2001に、泥の付着した巨大な5着のドレスからなる作品《皮膚からの記憶》を出品したことで大きな注目を集めました。その後も、2006年の第6回光州ビエンナーレや2007年の神奈川県民ホールギャラリーでの個展など、国内外で発表が続き、2007年度には咲くやこの花賞と芸術選奨文部科学大臣新人賞を続けて受賞しました。

塩田の作品には、絡まった毛糸、くだけたガラス窓、履き古された靴、焼けたピアノなどが主として用いられています。それらは、不穏なおぞましさを喚起する一方で、時間の経過とともに堆積された過去の記憶を提示しているようにも感じられます。普段、何気なく目にする日常の事物に、死の恐怖と生の迫力とを同時に付与した塩田の作品は、その両義性ゆえに見る者を魅了してやみません。本展では、国内において初めて発表される、靴を使ったインスタレーション作品の他、ベッドと糸のインスタレーション、泥のついたドレス、鉄棒の中に糸を張り巡らせた作品、映像、写真も加えながら、塩田千春の作品世界を紹介します。



2



3



4

BREATH OF THE SPIRIT CHIHARU SHIOTA

表、《DNAからの対話》2004年

日本美術技術センター(クラクフ、ポーランド)での展示風景(写真:Sunhi Mang)

1. 《During Sleep》2004年

聖マリア・マドレーヌ教会(リール、フランス)での展示風景(写真:Sunhi Mang)

2. 《皮膚からの記憶》2001年

横浜トリエンナーレ2001での展示風景(写真:Tetsuo Ito)

3. 《トラウマ/日常》2007年

4. 《絵になること》1994年(写真:Ben Stone)

■作者と語る:8月9日(土)午後2時より 当館B2展示場にて

■学芸員によるギャラリー・トーク:7月26日(土)午後2時より B2展示場にて

*いずれも無料。ただし観覧券が必要です。

■「靴が鳴る 音が跳ぶ」出演:高瀬アキ+塩田千春 8月31日(日)午後6時開場、6時30分開演 当館B2展示場にて

*100名まで、有料(2500円 事前申込制)当日開館時間内に限り、当展覧会およびコレクション2もあわせてご覧いただけます。

■ワークショップ「てのひらのくつ」講師:塩田千春 7月12日(土)午後1時30分-4時30分 当館B1講堂にて

*対象:小学4年-中学3年生 参加費:無料 定員20名 [詳細については美術館までお問い合わせください]

◎同時開催:「モディリアーニ展」「コレクション2」7月1日(火)-9月15日(月・祝)

◎次回展のお知らせ:「アジアとヨーロッパの肖像 Self and Other」展 9月30日(火)-11月24日(月・祝)

国立国際美術館 大阪・中之島
THE NATIONAL MUSEUM OF ART, OSAKA

〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-55 お問い合わせ:06-6447-4680(代)

4-2-55, Nakanoshima, Kita-ku, Osaka 530-0005 Tel:06-6447-4680 <http://www.nmao.go.jp/>



【交通案内】 ■地下鉄四つ橋線「肥後橋駅」(3番出口)より西へ徒歩約10分 ■JR線「大阪駅」、阪急電鉄「梅田駅」より南西へ徒歩約20分 ■JR大阪環状線「福島駅」、東西線「新福島駅」(2番出口)より南へ徒歩約10分 ■阪神電車「福島駅」より南へ徒歩約10分 ■地下鉄御堂筋線、京阪電車「淀屋橋駅」より西へ徒歩約15分 ■JR大阪駅より、市バス53号系統「田蓑橋」下車、南西へ徒歩約3分、または88号系統「土佐堀一丁目」下車、北へ徒歩約4分